

第3章 アンケート調査からみたニーズと課題

1 調査の概要

1-1 調査の目的

本アンケート調査は、東員町の高齢者等に対して、高齢者の現状、高齢者福祉サービスなどの利用状況、認知度および今後の利用意向、現状での問題点や課題事項等を把握し、高齢者福祉計画および介護保険事業計画の見直し、策定のための基礎資料とすることを目的として実施しました。

1-2 調査対象および調査方法

	一般高齢者（要支援認定者含む）調査 （介護予防・日常生活圏域ニーズ調査）	在宅介護実態調査
調査地域	東員町全域	
調査対象	65歳以上の要介護認定を受けていない方および要支援認定を受けている方	要介護認定（要介護1～5）を受けている方
配付数	2,000	564
有効回収数	1,374	386
有効回収率	68.7%	68.4%
抽出方法	無作為抽出	全数調査
調査方法	郵送配布・回収	認定調査員による配付・回収
調査時期	平成29年7月1日～8月1日	

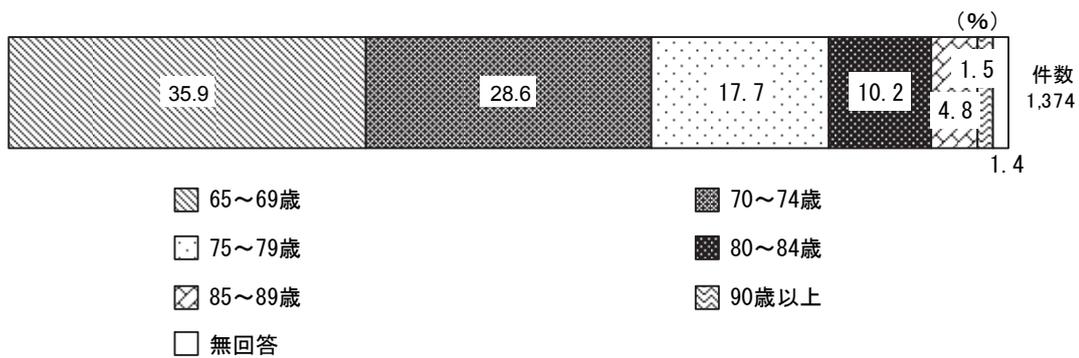
2 アンケート調査結果

2-1 一般高齢者（要支援認定者含む）調査

（1）一般高齢者調査の状況

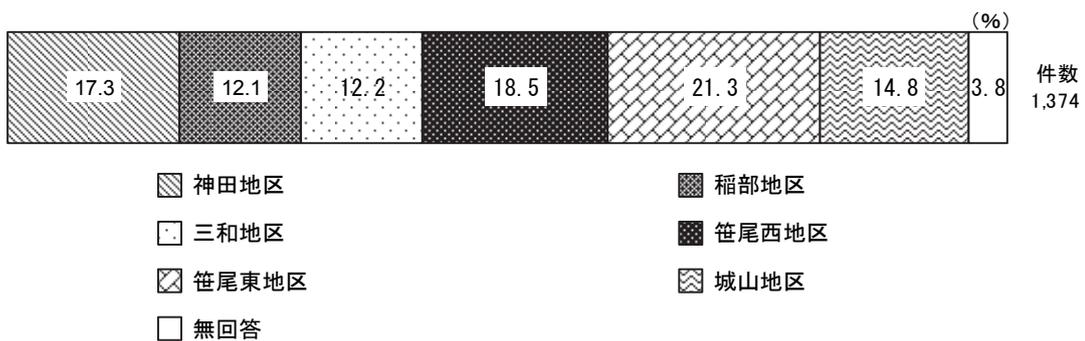
年齢については、「65～69歳」が35.9%、「70～74歳」が28.6%、「75～79歳」が17.7%、「80～84歳」10.2%となっています。

◆一般高齢者調査回答者の年齢



居住地区については、「笹尾東地区」が21.3%、「笹尾西地区」が18.5%、「神田地区」17.3%、「城山地区」が14.8%となっています。

◆一般高齢者調査回答者の居住地区



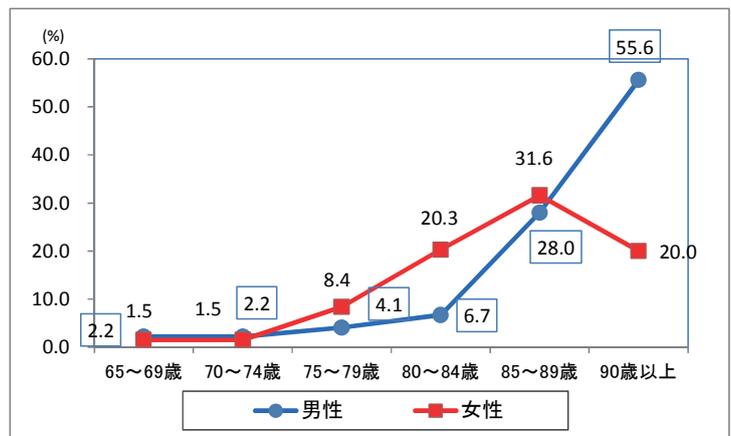
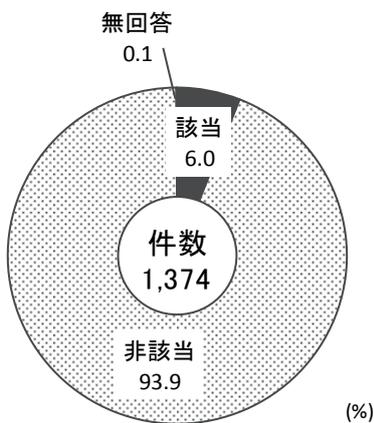
(2) 基本チェックリストによる判定

① 虚弱リスク

基本チェックリストから虚弱の傾向がみられる人は、全体で6.0%となっています。

性別でみると、「男性」は4.9%、「女性」は6.6%と男女での違いはあまりみられないものの、年齢別でみると、年齢とともに該当者は増加傾向にあり、男性の85歳以上では大きく増加しています。家族構成別でみると、「ひとり暮らし」で占める割合が高くなっています。

図：虚弱の傾向がみられる人の割合



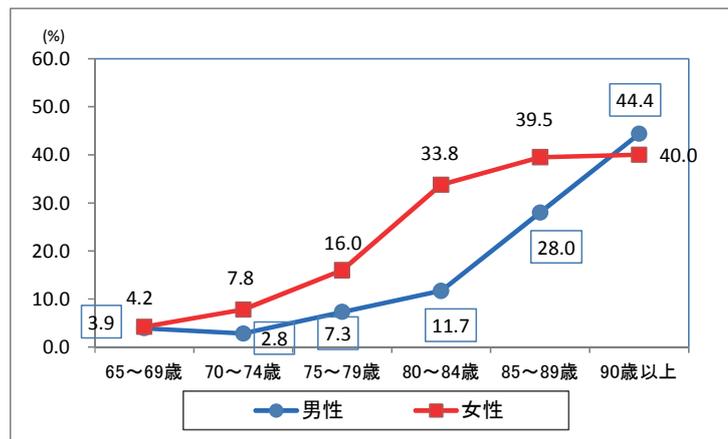
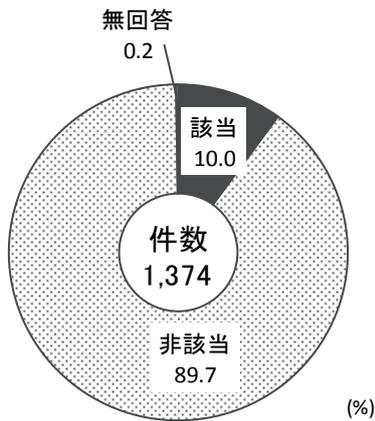
		調査数	虚弱		
			該当あり	該当なし	無回答
全体		1,374	6.0	93.9	0.1
性別	男性	631	4.9	95.1	-
	女性	710	6.6	93.4	-
居住地区	神田地区	238	8.0	92.0	-
	稲部地区	166	6.6	93.4	-
	三和地区	168	7.7	92.3	-
	笹尾西地区	254	3.5	96.5	-
	笹尾東地区	292	5.1	94.9	-
	城山地区	204	6.4	93.6	-
家族構成	ひとり暮らし	118	10.2	89.8	-
	夫婦2人暮らし(配偶者 65歳以上)	555	3.4	96.6	-
	夫婦2人暮らし(配偶者 64歳以下)	105	4.8	95.2	-
	息子・娘との2世帯	276	8.3	91.7	-
	その他	285	7.4	92.6	-

②運動機能低下リスク

基本チェックリストから、運動機能低下の傾向がみられる人は、全体で10.0%となっています。

性別では、「男性」の6.5%に比べ「女性」の13.0%の占める割合が高く、年齢別では年齢とともに、該当者の割合が高くなる傾向があります。居住地区別にみると、「神田地区」で占める割合は高く、家族構成別では「ひとり暮らし」で占める割合が高くなっています。

図：運動機能低下の傾向がみられる人の割合



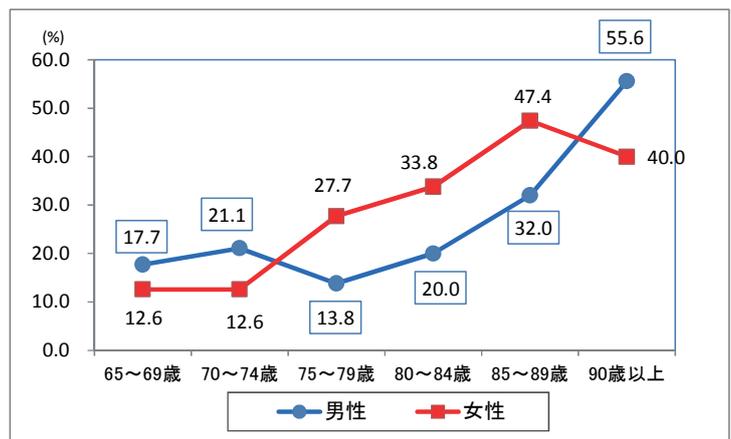
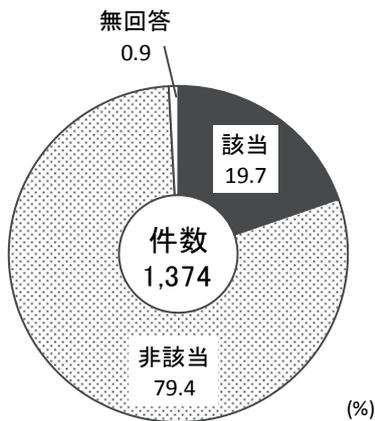
		調査数	運動		
			該当あり	該当なし	無回答
全体		1,374	10.0	89.7	0.2
性別	男性	631	6.5	93.5	-
	女性	710	13.0	87.0	-
居住地区	神田地区	238	13.0	87.0	-
	稲部地区	166	11.4	88.6	-
	三和地区	168	11.9	88.1	-
	笹尾西地区	254	9.1	90.9	-
	笹尾東地区	292	7.9	92.1	-
	城山地区	204	8.8	91.2	-
家族構成	ひとり暮らし	118	15.3	84.7	-
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	555	6.3	93.7	-
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	105	6.7	93.3	-
	息子・娘との2世帯	276	13.8	86.2	-
	その他	285	13.3	86.7	-

③口腔機能低下リスク

基本チェックリストから、口腔機能低下の傾向がみられる人は、全体の19.7%となっています。

年齢別でみると、年齢とともに該当者の割合が高くなる傾向があります。居住地区別にみると、「城山地区」で占める割合は高く、家族構成別では「ひとり暮らし」で占める割合が高くなっています。

図：口腔機能低下の傾向がみられる人の割合

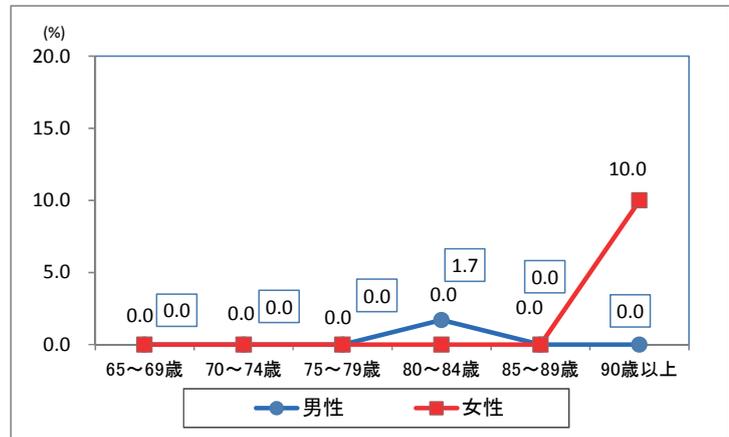
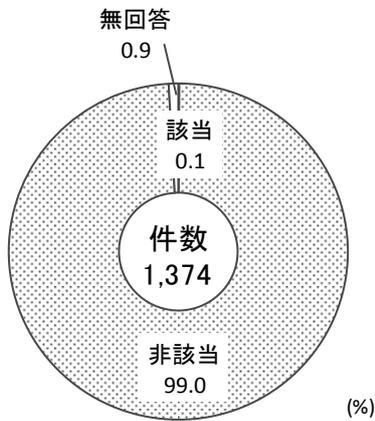


		調査数	口腔		
			該当あり	該当なし	無回答
全体		1,374	19.7	79.4	0.9
性別	男性	631	19.3	79.6	1.1
	女性	710	19.7	80.0	0.3
居住地区	神田地区	238	18.1	80.7	1.3
	稲部地区	166	21.1	78.3	0.6
	三和地区	168	20.8	76.8	2.4
	笹尾西地区	254	18.1	81.9	-
	笹尾東地区	292	18.5	80.8	0.7
	城山地区	204	22.1	77.9	-
家族構成	ひとり暮らし	118	24.6	74.6	0.8
	夫婦2人暮らし(配偶者 65歳以上)	555	18.6	80.2	1.3
	夫婦2人暮らし(配偶者 64歳以下)	105	21.0	78.1	1.0
	息子・娘との2世帯	276	19.2	80.4	0.4
	その他	285	19.3	80.7	-

④低栄養リスク

基本チェックリストから、低栄養の傾向がみられる人は、全体の0.1%となっています。性別等の属性別でも、大きな違いはみられません。

図：低栄養の傾向がみられる人の割合



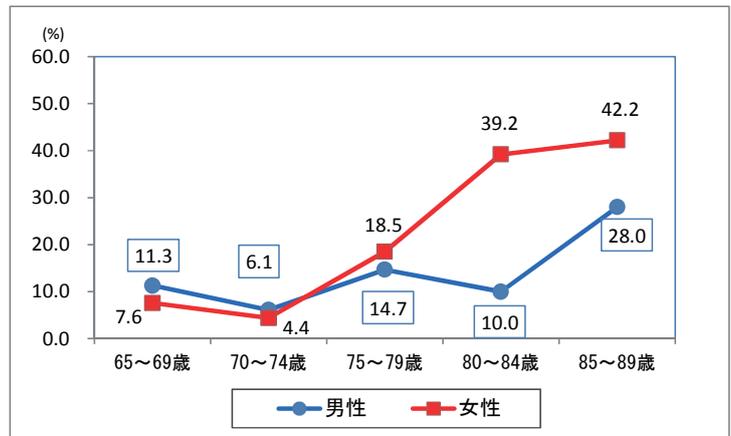
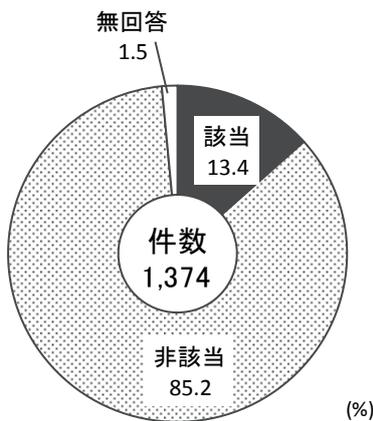
		調査数	栄養		
			該当あり	該当なし	無回答
全体		1,374	0.1	99.0	0.9
性別	男性	631	0.2	98.7	1.1
	女性	710	0.1	99.6	0.3
居住地区	神田地区	238	-	99.2	0.8
	稲部地区	166	-	99.4	0.6
	三和地区	168	-	99.4	0.6
	笹尾西地区	254	-	99.2	0.8
	笹尾東地区	292	0.3	99.0	0.7
	城山地区	204	0.5	99.5	-
家族構成	ひとり暮らし	118	0.8	98.3	0.8
	夫婦2人暮らし(配偶者 65歳以上)	555	-	99.1	0.9
	夫婦2人暮らし(配偶者 64歳以下)	105	-	98.1	1.9
	息子・娘との2世帯	276	-	99.6	0.4
	その他	285	-	100.0	-

⑤閉じこもりリスク

基本チェックリストから、閉じこもりの傾向がみられる人は、全体の13.4%となっています。

性・年齢別でみると、男女ともに年齢が上がるにつれて占める割合も高くなる傾向がみられ、特に女性では80歳以上で男性を大きく上回っています。居住地区別にみると、「三和地区」で占める割合は高く、家族構成別では「ひとり暮らし」で占める割合が高くなっています。

図：閉じこもりの傾向がみられる人の割合



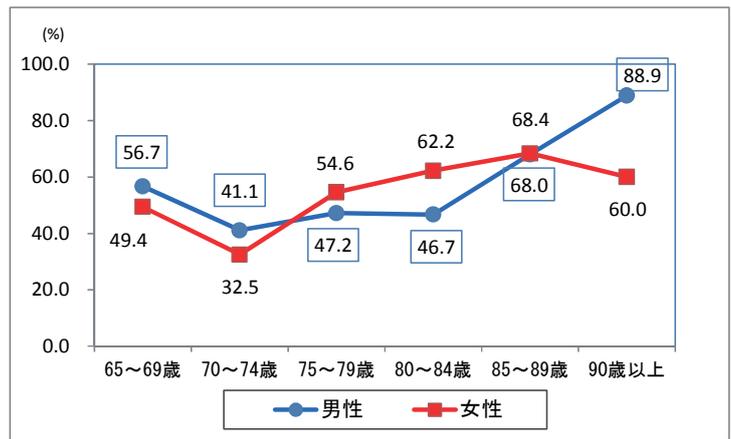
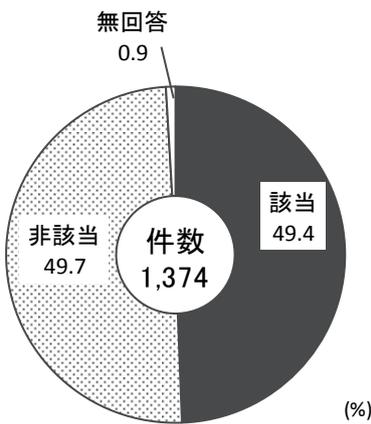
		調査数	閉じこもり		
			該当あり	該当なし	無回答
全体		1,374	13.4	85.2	1.5
性別	男性	631	11.9	86.5	1.6
	女性	710	14.6	84.5	0.8
居住地区	神田地区	238	15.1	82.8	2.1
	稲部地区	166	17.5	81.3	1.2
	三和地区	168	19.6	77.4	3.0
	笹尾西地区	254	9.8	89.8	0.4
	笹尾東地区	292	9.9	89.4	0.7
	城山地区	204	13.2	86.8	-
家族構成	ひとり暮らし	118	17.8	80.5	1.7
	夫婦2人暮らし(配偶者65歳以上)	555	11.2	87.9	0.9
	夫婦2人暮らし(配偶者64歳以下)	105	11.4	86.7	1.9
	息子・娘との2世帯	276	13.8	85.1	1.1
	その他	285	16.1	83.5	0.4

⑥ 認知機能低下リスク

基本チェックリストから、認知機能低下の傾向がみられる人は、全体の49.4%と約5割を占めています。

性・年齢別でみると、男女ともに年齢が上がるにつれて占める割合も高くなる傾向がみられます。居住地区別にみると、「三和地区」で占める割合は高く、家族構成別では「その他」で占める割合が高くなっています。

図：認知機能低下の傾向がみられる人の割合



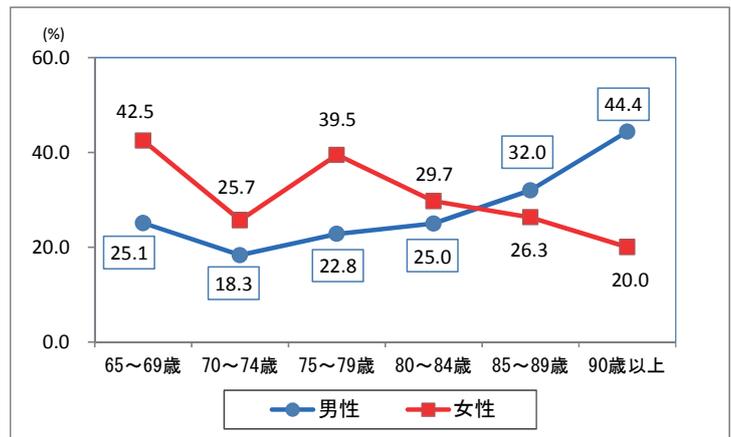
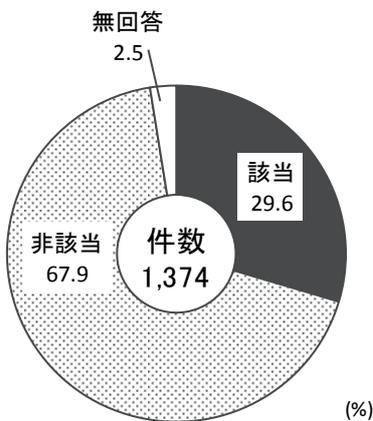
		調査数	認知		
			該当あり	該当なし	無回答
全体		1,374	49.4	49.7	0.9
性別	男性	631	50.4	48.7	1.0
	女性	710	48.0	51.7	0.3
居住地区	神田地区	238	55.5	42.9	1.7
	稲部地区	166	50.0	49.4	0.6
	三和地区	168	60.1	38.7	1.2
	笹尾西地区	254	45.3	54.7	-
	笹尾東地区	292	40.4	58.9	0.7
	城山地区	204	48.5	51.5	-
家族構成	ひとり暮らし	118	50.8	48.3	0.8
	夫婦2人暮らし(配偶者 65歳以上)	555	45.0	54.1	0.9
	夫婦2人暮らし(配偶者 64歳以下)	105	49.5	49.5	1.0
	息子・娘との2世帯	276	50.7	48.6	0.7
	その他	285	55.4	44.6	-

⑦ うつリスク

基本チェックリストから、うつの傾向がみられる人は、全体の29.6%となっています。性別でみると、「男性」の23.3%に比べ「女性」は34.6%と、占める割合が高くなっています。

性・年齢別でみると、男性は70歳から増加傾向にあります。居住地区別にみると、「笹尾東地区」で占める割合は高く、家族構成別では「ひとり暮らし」で占める割合が高くなっています。

図：うつの傾向がみられる人の割合



		調査数	うつ		
			該当あり	該当なし	無回答
全体		1,374	29.6	67.9	2.5
性別	男性	631	23.3	74.3	2.4
	女性	710	34.6	62.8	2.5
居住地区	神田地区	238	28.2	66.4	5.5
	稲部地区	166	24.1	75.3	0.6
	三和地区	168	28.0	69.0	3.0
	笹尾西地区	254	31.1	66.9	2.0
	笹尾東地区	292	32.9	65.8	1.4
	城山地区	204	29.9	67.6	2.5
家族構成	ひとり暮らし	118	32.2	66.9	0.8
	夫婦2人暮らし(配偶者 65歳以上)	555	28.8	69.2	2.0
	夫婦2人暮らし(配偶者 64歳以下)	105	31.4	67.6	1.0
	息子・娘との2世帯	276	27.5	69.2	3.3
	その他	285	30.5	66.3	3.2

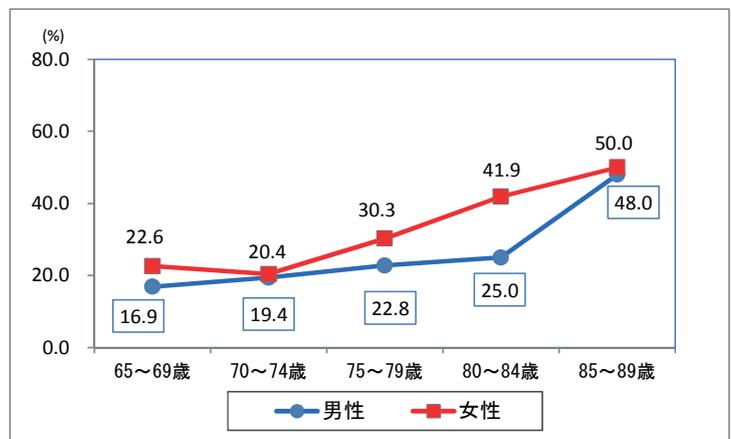
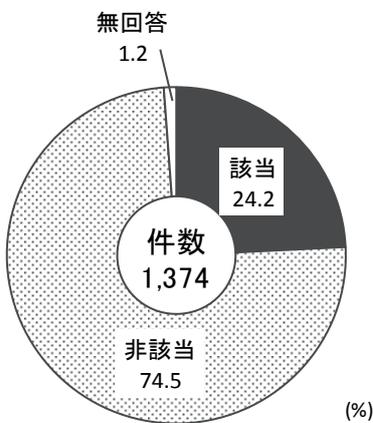
⑧ 転倒リスク

基本チェックリストから、転倒リスクの傾向がみられる人は、全体の24.2%となっています。

性別でみると、「男性」の21.2%に比べ「女性」は26.8%と、占める割合が高くなっています。

性・年齢別でみると、男女ともに年齢が上がるにつれて占める割合も上がる傾向がみられ、特に女性では各年代層で男性を上回っています。居住地区別にみると、「稲部地区」で占める割合は高く、家族構成別では「息子・娘との2世帯」で占める割合が高くなっています。

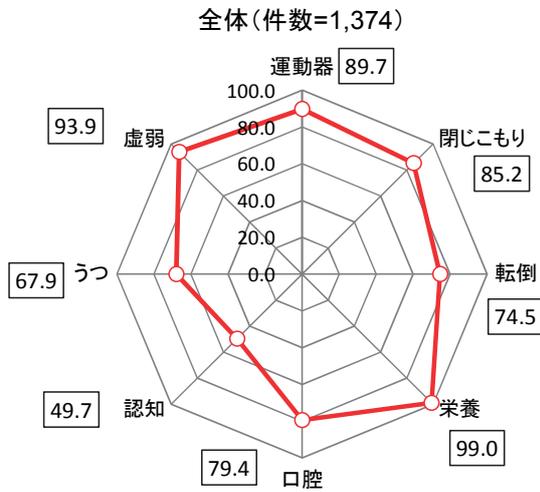
図：転倒リスクの傾向がみられる人の割合



		調査数	転倒		
			該当あり	該当なし	無回答
全体		1,374	24.2	74.5	1.2
性別	男性	631	21.2	78.3	0.5
	女性	710	26.8	73.0	0.3
居住地区	神田地区	238	29.0	71.0	-
	稲部地区	166	29.5	70.5	-
	三和地区	168	25.0	73.2	1.8
	笹尾西地区	254	23.2	76.4	0.4
	笹尾東地区	292	21.2	78.1	0.7
	城山地区	204	20.1	79.9	-
家族構成	ひとり暮らし	118	28.8	70.3	0.8
	夫婦2人暮らし(配偶者 65歳以上)	555	21.1	78.4	0.5
	夫婦2人暮らし(配偶者 64歳以下)	105	17.1	82.9	-
	息子・娘との2世帯	276	29.7	70.3	-
	その他	285	26.7	72.6	0.7

(3) 各種評価結果のまとめ

【全 体】

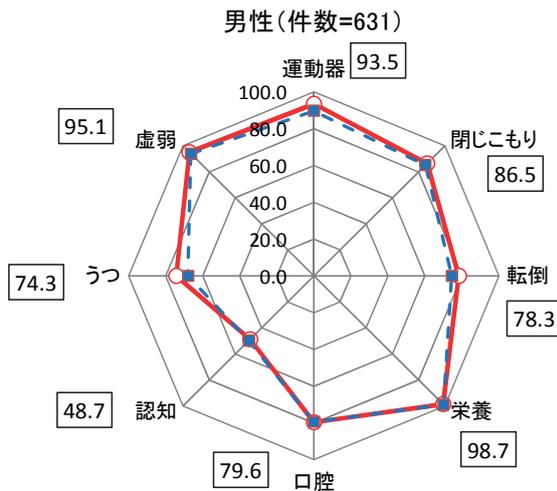


生活機能の評価結果を全体で見ると、基本チェックリストによる生活機能の非該当者の割合では、「栄養」が99.0%と最も高く、次いで「虚弱」(93.9%)、「運動器」(89.7%)となっています。

一方で、最も低い項目は「認知」で49.7%、次いで「うつ」が67.9%となっています。

※レーダーチャートは値が低いほどリスクが高い。

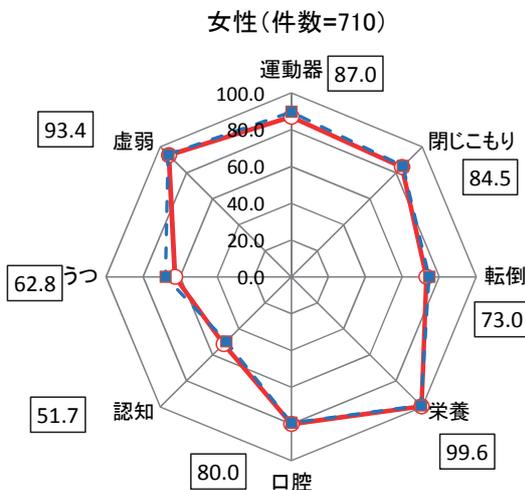
【性 別】



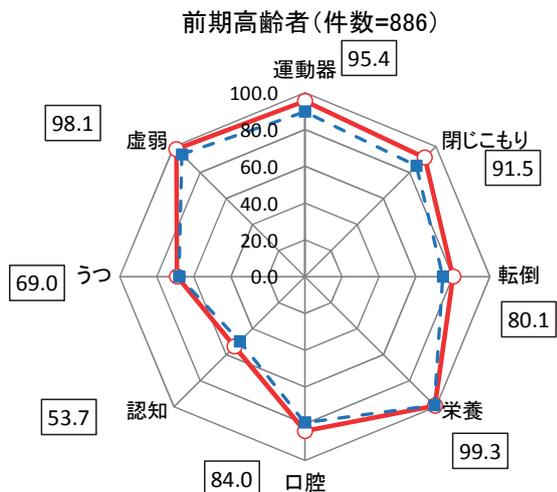
生活機能の評価結果を性別で見ると、男性では全体とほぼ同様の結果となっています。

一方で女性では全体に比べて「うつ」「運動器」等のリスクが高くなっています。

そのため、うつから認知症につながらないような取組みや、運動機能の低下による要介護状態にならないようなケアが必要になります。



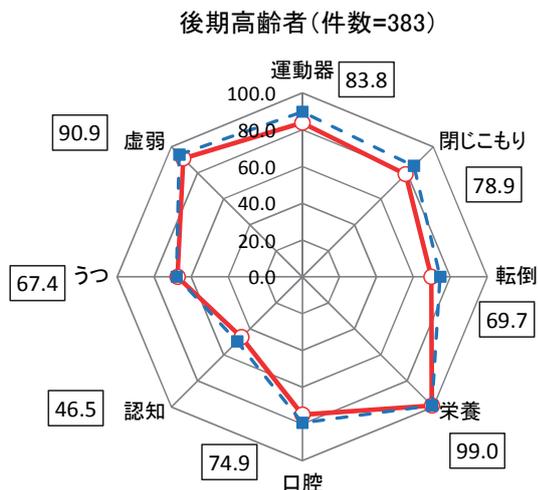
【年齢】



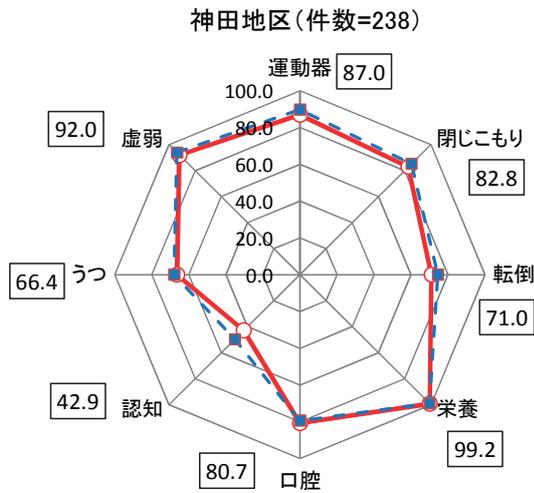
前期高齢者では、後期高齢者と比べ、すべての項目でリスクは低くなっています。

後期高齢者では、前期高齢者と比べ、すべての項目でリスクは高くなっており、特に「運動器」「転倒」「閉じこもり」などでは5ポイント以上高くなっています。

そのため、要介護状態にならないよう運動機能の低下の予防・改善のための健康増進や転倒予防のため取組みが必要になります。

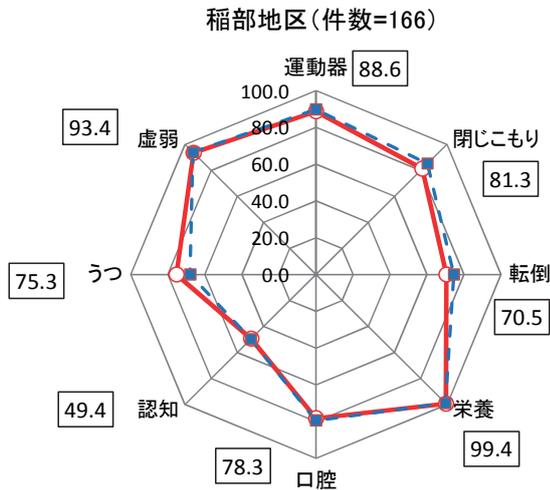


【居住地区】



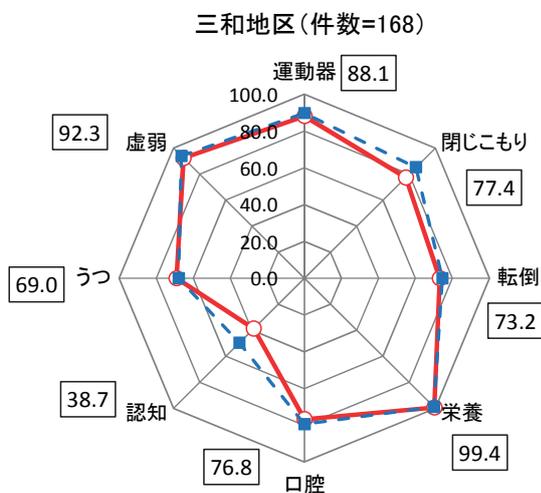
神田地区で見ると、全体と比べて大きな差は見られないものの、「認知」のリスクが6.8ポイント高くなっています。

そのため、認知症に対するケアが必要になります。



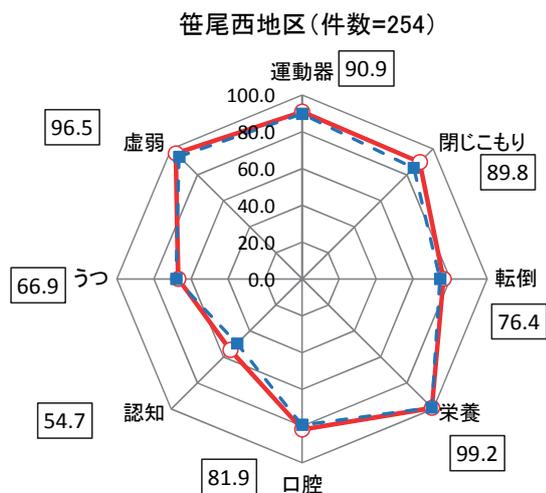
稲部地区で見ると、全体と比べて「閉じこもり」のリスクが3.9ポイント、「転倒」のリスクが4.0ポイント高くなっています。

そのため、閉じこもりや転倒防止等、外出しやすい安全な環境づくりが必要になります。

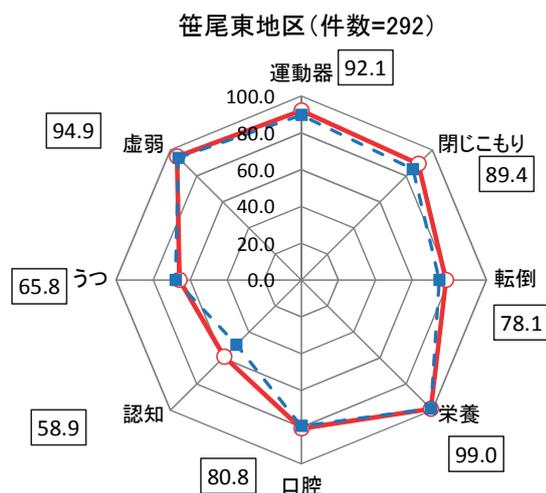


三和地区で見ると、全体と比べて「閉じこもり」のリスクが7.8ポイント、「認知」のリスクが11.0ポイント高くなっています。

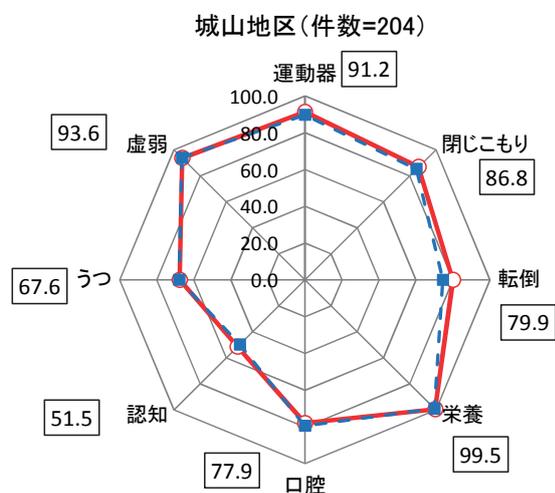
そのため、閉じこもりからうつにつながるような、認知等の精神的ケア対策が必要になります。



笹尾西地区で見ると、全体と比べてほとんどの項目でリスクは低くなっています。



笹尾東地区で見ると、全体と比べてほとんどの項目でリスクは低くなっており、特に「認知」のリスクは9.2ポイント低くなっています。
そのため、認知症に対するケアが必要になります。



城山地区で見ると、全体と比べてほとんどの項目でリスクは低くなっており、特に「転倒」のリスクは5.4ポイント低くなっています。
そのため、転倒防止等、外出しやすい安全な環境づくりが必要になります。

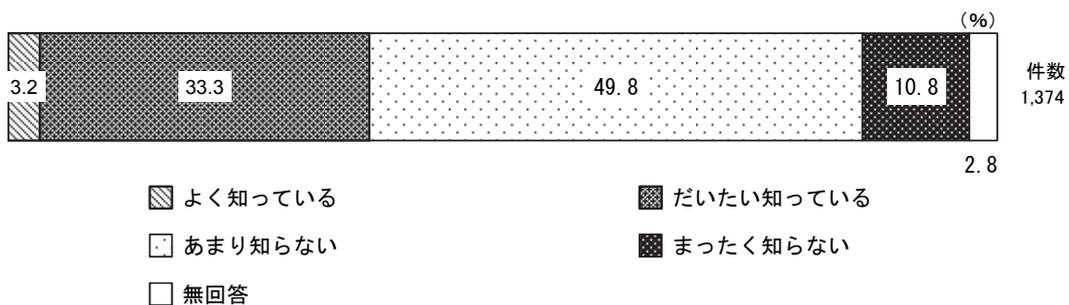
(4) 介護保険制度について

介護保険制度について認知度を集計したところ、『知っている』（「よく知っている」「だいたい知っている」を合計したもの）が36.5%、『知らない』（「あまり知らない」「まったく知らない」を合計したもの）が60.6%となっています。約6割の人が、介護保険制度について『知らない』という現状となっています。

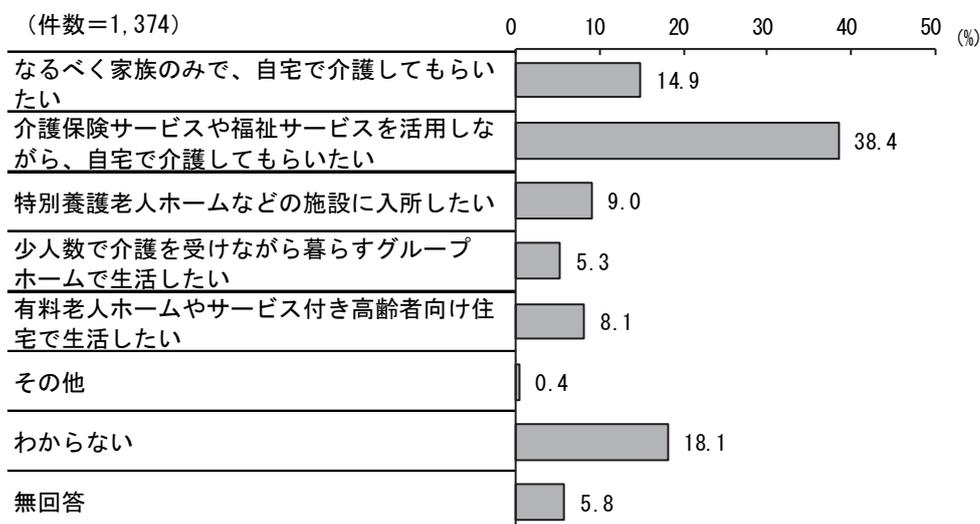
一方、要介護時に希望する生活については、「介護保険サービスや福祉サービスを活用しながら、自宅で介護してもらいたい」が38.4%で最も高くなっており、「なるべく家族のみで、自宅で介護してもらいたい」が14.9%などとなっており、自宅での介護を希望しつつも介護保険サービスや福祉サービスを活用したいと考えている人が多いです。

また、介護保険サービスを活用する際、利用したい介護保険サービスについては、「自宅訪問による介護サービス」が61.7%で最も高く、次いで「自宅訪問による看護」が40.2%、「施設に通って受ける介護サービス」が39.1%、「福祉用具の購入・貸し出し」が32.8%、「住宅改修費用の支給」が32.3%などとなっています。

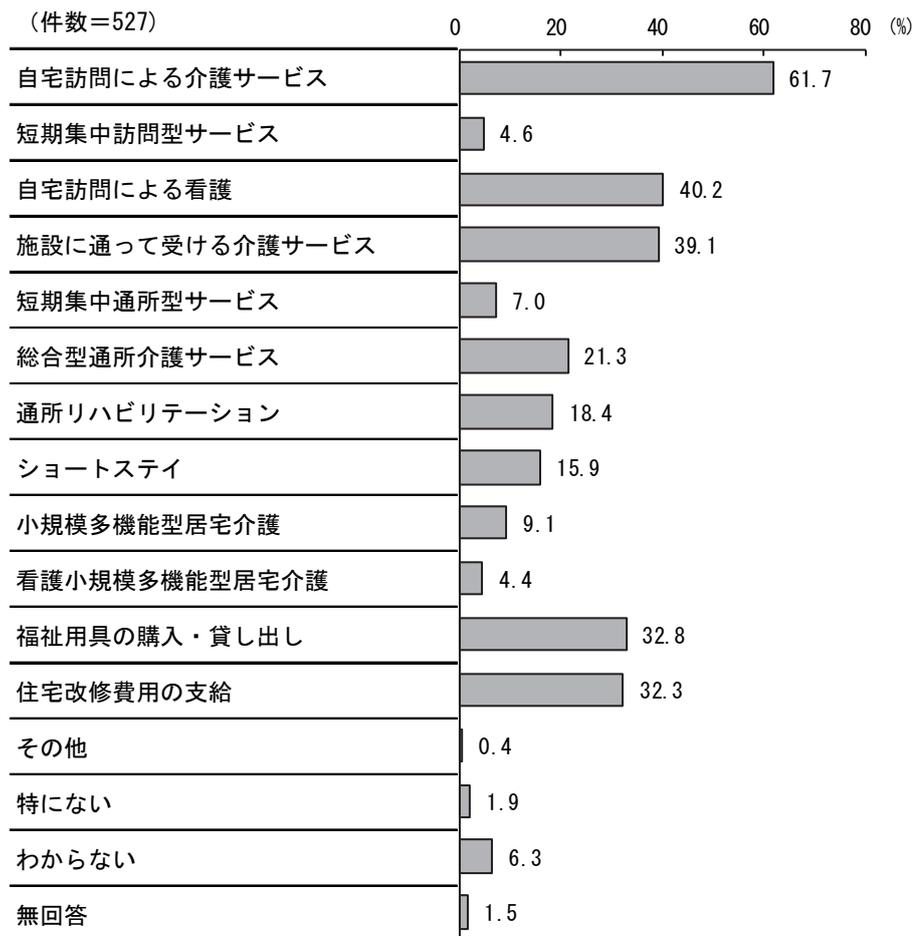
◆介護保険制度についての認知度



◆要介護時に希望する生活



◆利用したい介護保険サービス



世帯構成別でみると、いずれの家族構成においても「自宅訪問による介護サービス」が最も高く、次いで「自宅訪問による看護」「施設に通って受ける介護サービス」となっています。

	1位	2位	3位	4位	5位
ひとり暮らし世帯	自宅訪問による介護サービス 55.6% (2位)	自宅訪問による看護 40.7% (4位)	施設に通って受ける介護サービス 29.6% (1位)	総合型通所介護サービス(—) 福祉用具の購入・貸し出し(3位) 住宅改修費用の支給(—) 22.2%	
夫婦のみの世帯	自宅訪問による介護サービス 67.9% (1位)	自宅訪問による看護 41.7% (3位)	施設に通って受ける介護サービス 40.1% (2位)	福祉用具の購入・貸し出し 32.9% (1位)	住宅改修費用の支給 32.1% (4位)
その他の世帯	自宅訪問による介護サービス 57.0% (4位)	自宅訪問による看護 40.1% (—)	施設に通って受ける介護サービス 39.2% (1位)	福祉用具の購入・貸し出し 35.0% (2位)	住宅改修費用の支給 34.6% (5位)

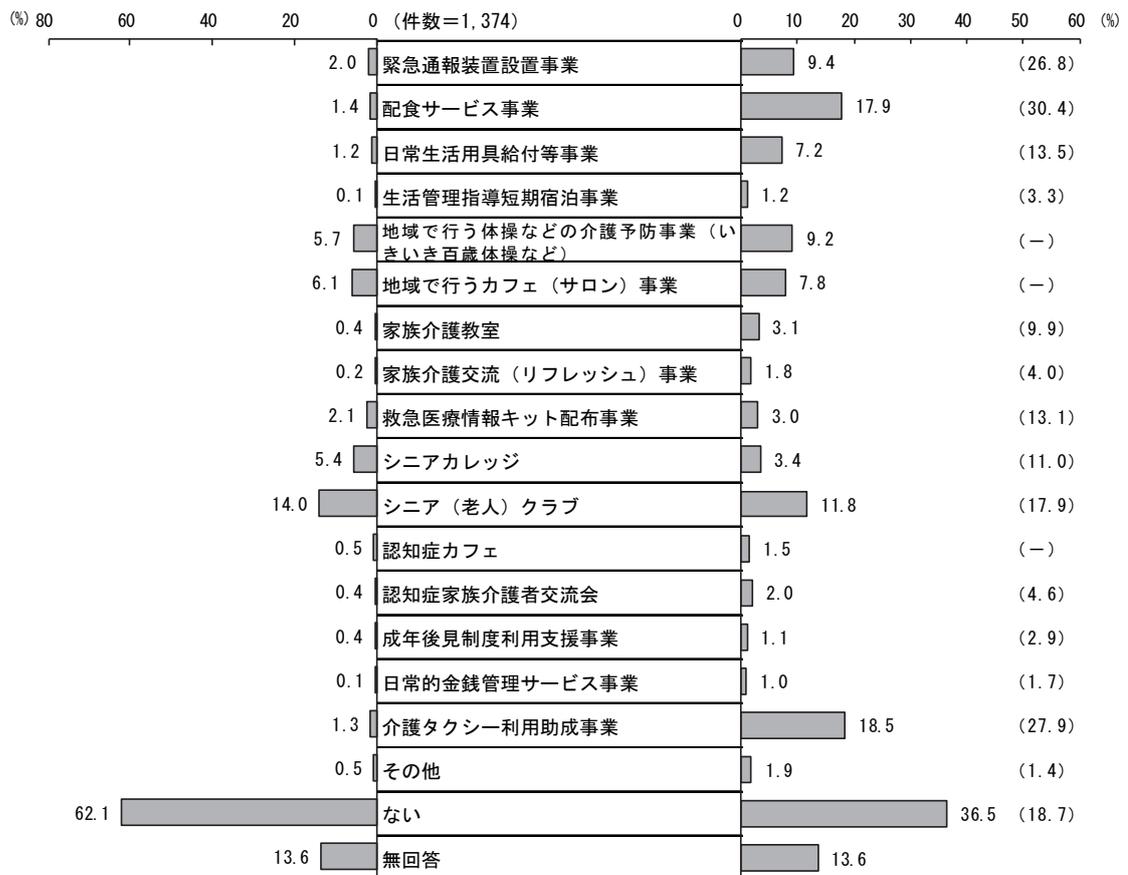
() 内は前回調査時の順位

(5) 高齢者福祉サービスと施策に関する意識の状況

高齢者福祉サービスについての利用状況を集計したところ、全体の約6割以上が「ない」と回答しており、その理由として制度の認知度の低さが考えられます。しかし、今後利用したいサービスとして、2割以下であるもののニーズがある状況を把握し、今後福祉サービスの周知の徹底とサービス内容の見直しを図り、さらなる活用を進める必要があります。

◆現在利用しているサービス

◆今後利用したいサービス



() 内は前回調査時の結果

居住地区別でみると、いずれの地区においても「介護タクシー利用助成事業」「配食サービス事業」といったニーズが高くなっています。

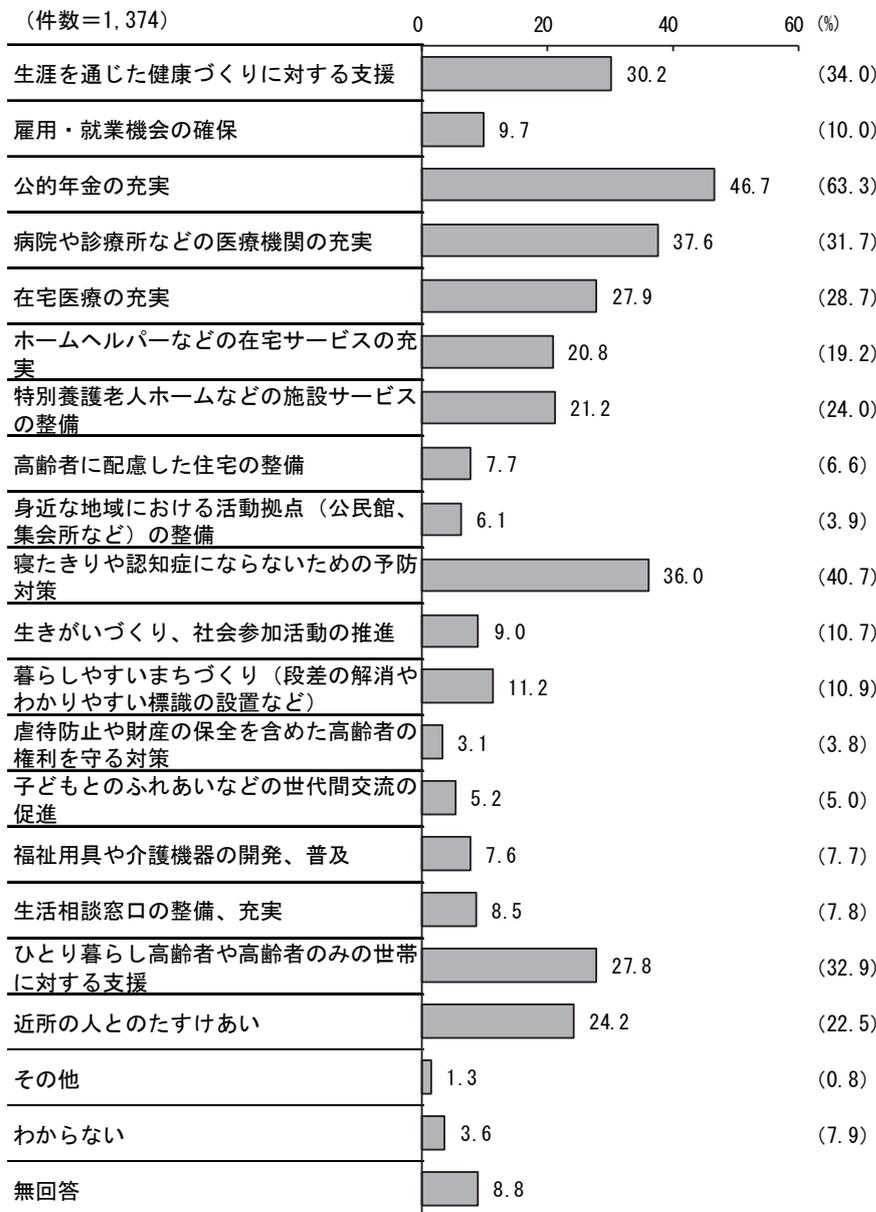
	1位	2位	3位	4位	5位
全体	介護タクシー利用助成事業 18.5%(2位)	配食サービス事業 17.9%(1位)	シニア(老人)クラブ 11.8%(5位)	緊急通報装置設置事業 9.4%(3位)	地域で行う体操等の介護予防事業 9.2%(前回なし)
神田地区	シニア(老人)クラブ 21.0%(3位)	介護タクシー利用助成事業 18.5%(2位)	配食サービス事業 14.7%(1位)	緊急通報装置設置事業 12.2%(4位)	地域で行うカフェ 11.8%(前回なし)
稲部地区	介護タクシー利用助成事業 19.9%(2位)	配食サービス事業 16.9%(3位)	地域で行う体操等の介護予防事業 15.1%(前回なし)	シニア(老人)クラブ 10.8%(1位)	緊急通報装置設置事業 7.8%(4位)
三和地区	介護タクシー利用助成事業 20.2%(4位)	配食サービス事業 19.0%(3位)	シニア(老人)クラブ 17.3%(1位)	緊急通報装置設置事業 11.3%(5位)	地域で行う体操等の介護予防事業 7.7%(前回なし)
笹尾西地区	配食サービス事業 20.9%(1位)	介護タクシー利用助成事業 16.5%(3位)	日常生活用具給付等事業 8.7%(6位)	地域で行う体操等の介護予防事業 8.3%(前回なし)	地域で行うカフェ 7.9%(前回なし)
笹尾東地区	介護タクシー利用助成事業 19.2%(3位)	配食サービス事業 17.8%(2位)	地域で行う体操等の介護予防事業 9.6%(前回なし)	地域で行うカフェ 8.6%(前回なし)	シニア(老人)クラブ 8.2%(11位)
城山地区	介護タクシー利用助成事業 18.6%(2位)	配食サービス事業 17.6%(1位)	緊急通報装置設置事業 10.8%(2位) 日常生活用具給付等事業 10.8%(4位)		シニア(老人)クラブ 9.3%(5位)

()内は前回調査時の順位

・高齢者施策について

高齢者施策については、「公的年金の充実」が46.7%で最も高く、次いで「病院や診療所などの医療機関の充実」が37.6%、「寝たきりや認知症にならないための予防対策」が36.0%、「生涯を通じた健康づくりに対する支援」が30.2%、「在宅医療の充実」が27.9%などとなっています。公的年金の充実や医療機関といったハード面での充実を希望する一方で、寝たきり・認知症予防や健康づくりに対する支援などソフト面での充実を希望する割合も高くなっており、今後多面的な支援施策が望まれています。

◆高齢社会において必要な施策



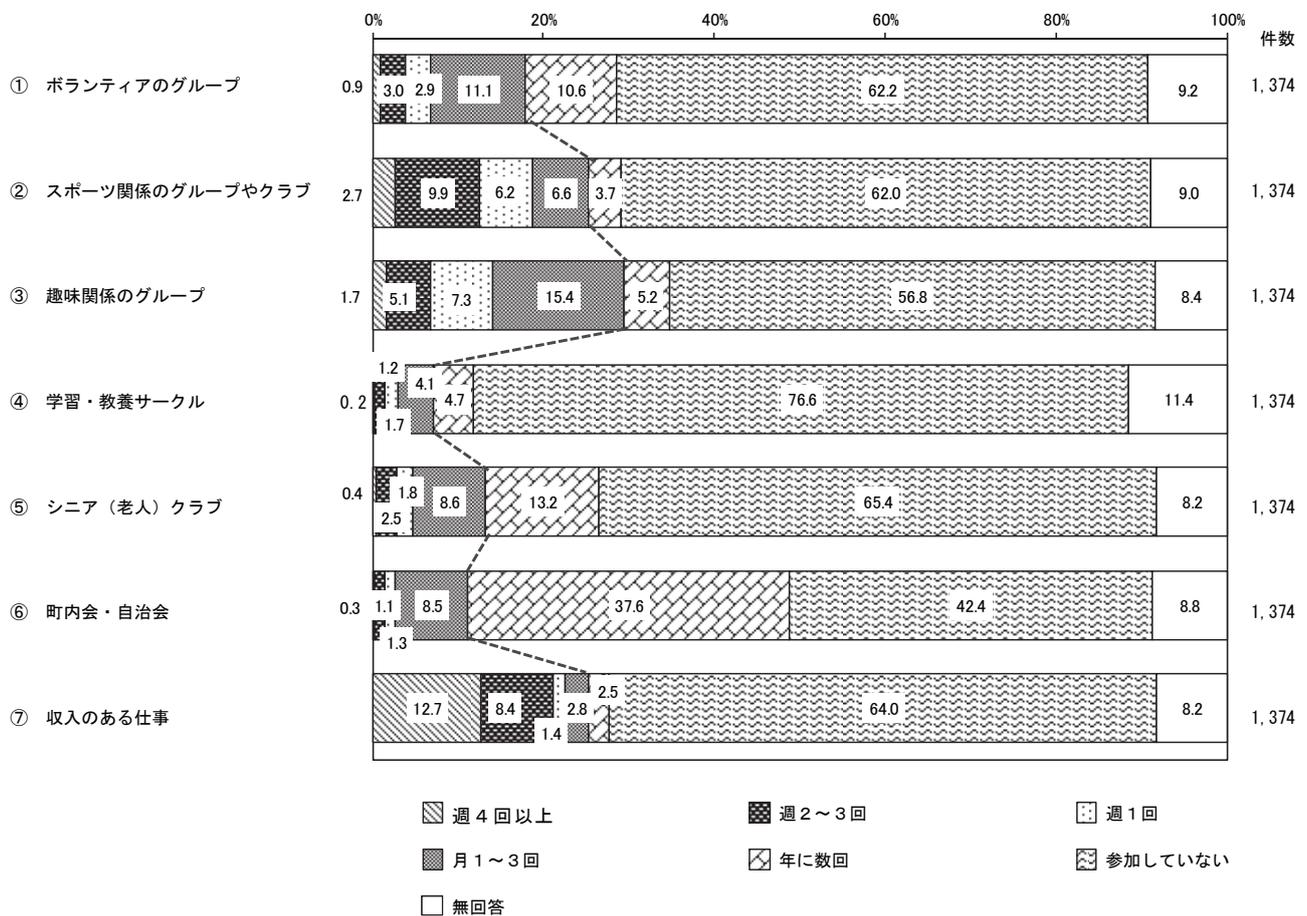
() 内は前回調査時の結果

(6) 地域での生活や関わりについて

地域活動への参加状況を集計したところ、参加率（月に1回以上）は、「趣味関係のグループ」「スポーツ関係のグループやクラブ」「収入のある仕事」で約3割と高く、「学習・教養サークル」で約1割と低くなっています。一方、週4回以上参加している活動は「収入のある仕事」で12.7%と最も高くなっています。また、「町内会・自治会」は「年に数回」が約4割（37.6%）を占めており、自治会や町内会へ参加することが義務ととらえている人が多いことがうかがえます。

高齢者の地域活動への参加は、閉じこもり予防や健康維持等の介護予防効果も期待できるため、参加促進のために地域の状況に応じた取組みが必要です。

◆地域活動への参加状況



(7) 地域活動への参加意向

地域活動への参加意向（参加者として）については、性別で見ると、男性・女性ともに『参加したい』と答える人が約6割と高くなっています。

年齢別で見ると、90歳未満では『参加したい』と答える人が多いものの、年代が上がるにつれて徐々に減少し、90歳以上では「参加したくない」が85.0%と最も高く、次いで85～89歳で48.5%となっています。

また、地域活動への参加意向（企画・運営として）については、性別・年齢別ともに「参加してもよい」と答える人が約3割となっています。

地区別にみても、この傾向は変わりません。

◆地域活動への参加意向（参加者として）

【性別・年齢・地区別】

		件数	ぜひ参加したい	参加してもよい	参加したくない	無回答
全体		1,374	6.9	52.8	36.0	4.3
性別	男性	631	6.3	56.3	34.2	3.2
	女性	710	7.3	50.6	37.9	4.2
年齢別	65～69歳	493	6.1	55.8	36.5	1.6
	70～74歳	393	7.1	55.0	33.8	4.1
	75～79歳	243	7.4	56.8	29.6	6.2
	80～84歳	140	10.0	45.0	37.1	7.9
	85～89歳	66	6.1	43.9	48.5	1.5
	90歳以上	20	5.0	5.0	85.0	5.0
地区別	神田地区	238	10.1	51.7	34.0	4.2
	稲部地区	166	7.2	54.2	35.5	3.0
	三和地区	168	7.7	50.0	35.7	6.5
	笹尾西地区	254	4.7	57.1	34.6	3.5
	笹尾東地区	292	8.2	51.7	36.0	4.1
	城山地区	204	4.9	52.0	41.2	2.0

◆地域活動への参加意向（企画・運営として）

【性別・年齢・地区別】

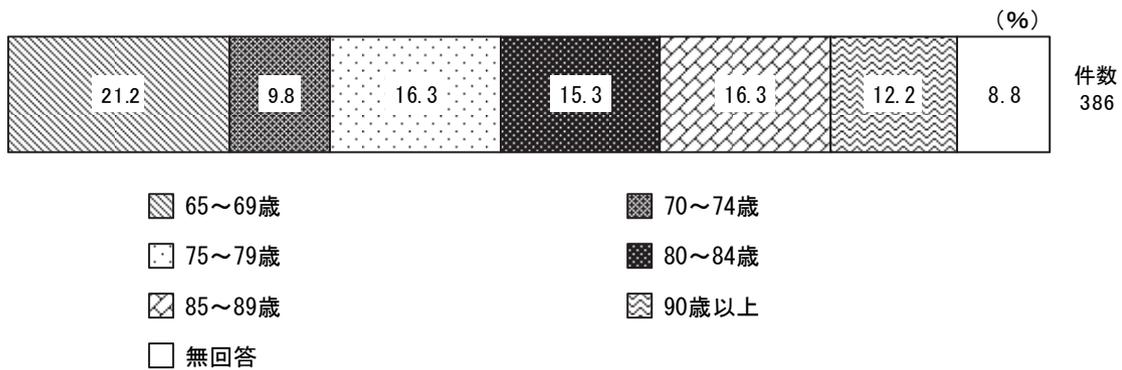
		件数	ぜひ参加したい	参加してもよい	参加したくない	無回答
全体		1,374	2.5	28.5	64.4	4.5
性別	男性	631	3.2	32.2	60.4	4.3
	女性	710	2.1	25.4	68.6	3.9
年齢別	65～69歳	493	2.4	30.4	64.7	2.4
	70～74歳	393	2.8	29.0	64.7	3.8
	75～79歳	243	2.5	32.1	60.5	4.9
	80～84歳	140	4.3	23.6	62.9	9.3
	85～89歳	66	-	24.2	71.2	4.5
	90歳以上	20	-	-	90.0	10.0
地区別	神田地区	238	2.9	30.7	60.1	6.3
	稲部地区	166	2.4	33.7	60.8	3.0
	三和地区	168	2.4	26.8	65.5	5.4
	笹尾西地区	254	0.8	29.1	66.9	3.1
	笹尾東地区	292	4.5	26.0	65.1	4.5
	城山地区	204	2.5	27.0	68.1	2.5

2-2 在宅介護実態調査

(1) 要介護者の在宅生活の状況

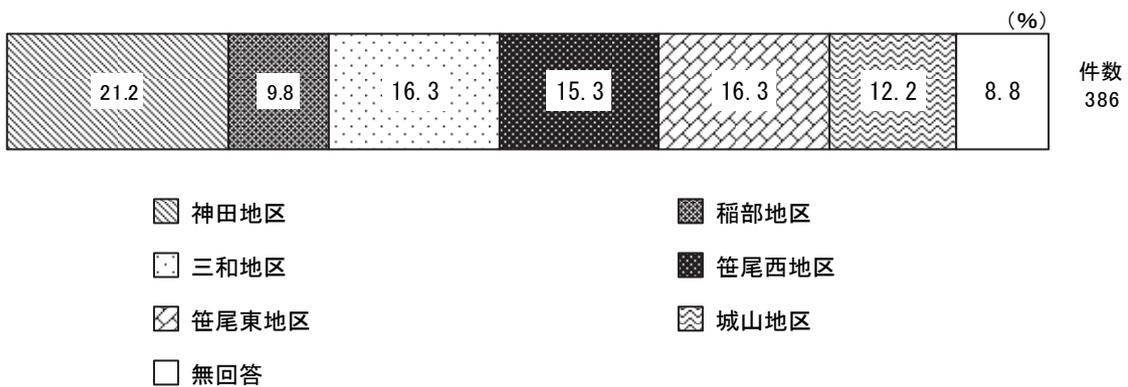
在宅介護実態調査回答者の年代については、「65～69歳」が21.2%、「75～79歳」「85～89歳」が16.3%、「80～84歳」が15.3%となっています。

◆在宅介護実態調査回答者の年齢



在宅介護実態調査回答者の居住地区については、「神田地区」が21.2%、「三和地区」「笹尾東地区」が16.3%、「笹尾西地区」が15.3%となっています。

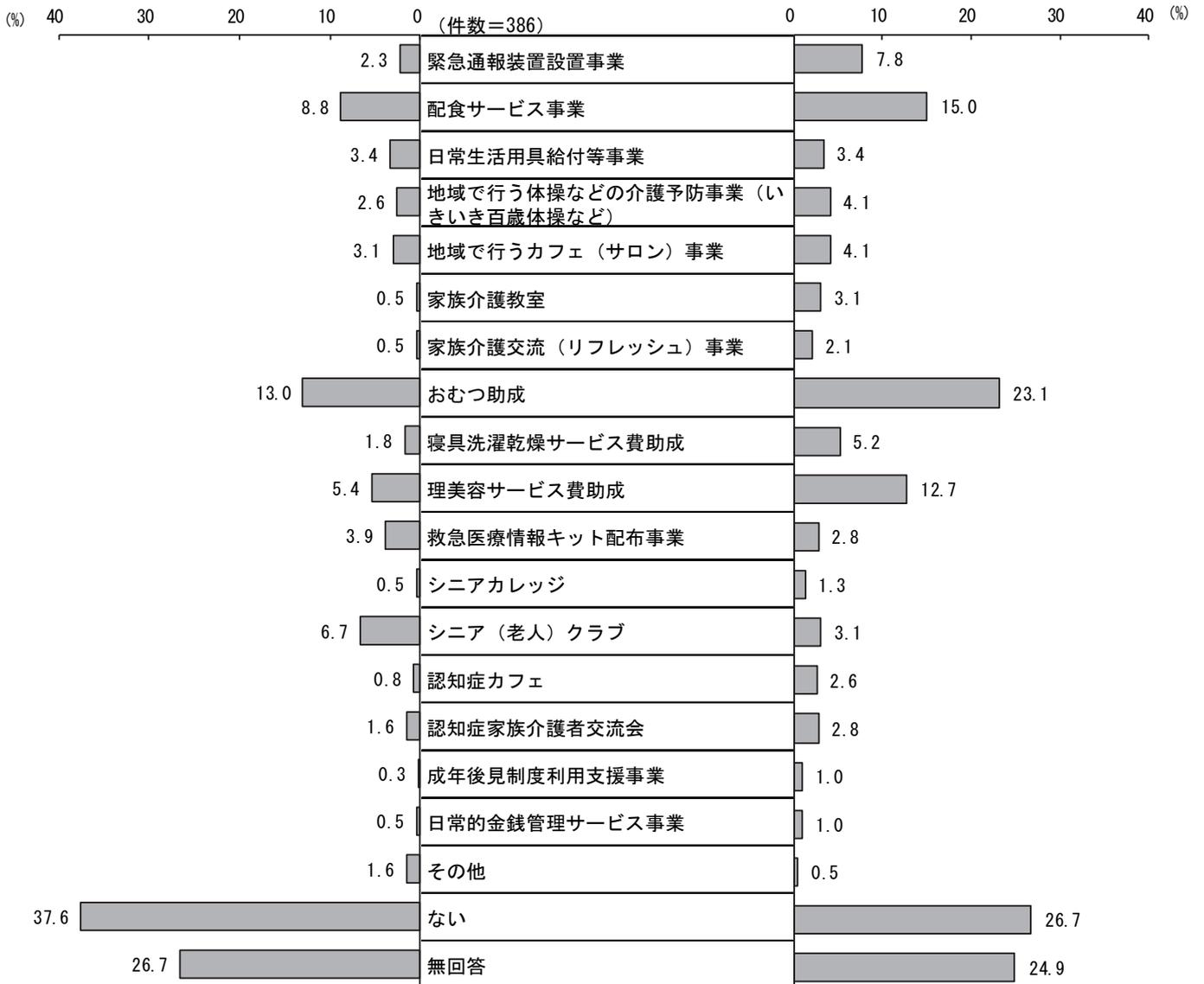
◆在宅介護実態調査回答者の居住地区



介護保険サービス以外の支援・サービスの利用状況と利用意向をみると、ともに「おむつ助成」と「配食サービス事業」が上位を占めています。また「理美容サービス費助成」も高い値を示していることから、要介護者の在宅生活の実質的な支援・サービスへのニーズが高いことがうかがえます。

◆現在利用している高齢者福祉サービス

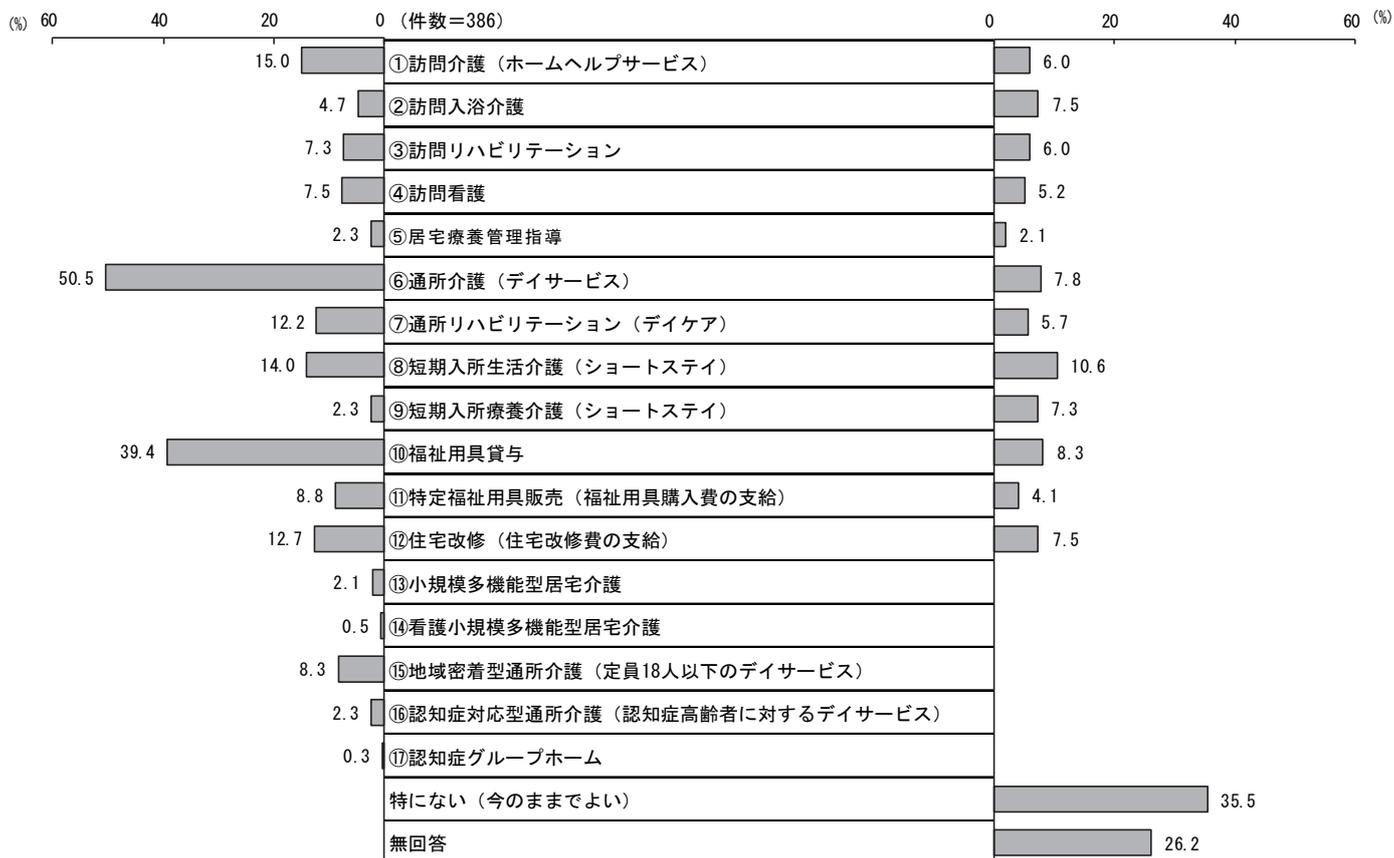
◆今後利用したい高齢者福祉サービス



介護保険サービスの利用状況を見ると、「通所介護（デイサービス）」「福祉用具貸与」が上位を占めています。今後新たに利用したいサービスについては「短期入所生活介護（ショートステイ）」「福祉用具貸与」のニーズが高くなっている一方で「特にない（今のままでよい）」が35.5%と最も高くなっています。

◆現在利用している介護サービス

◆今後新たに利用したい介護サービス



介護保険サービスの利用状況と満足度については、⑥通所介護（デイサービス）において、「現在利用している・以前利用していた」が50.5%で最も高く、「満足」も47.2%となっています。また、⑩福祉用具貸与において、「現在利用している・以前利用していた」が39.4%、「満足」は59.2%となっています。

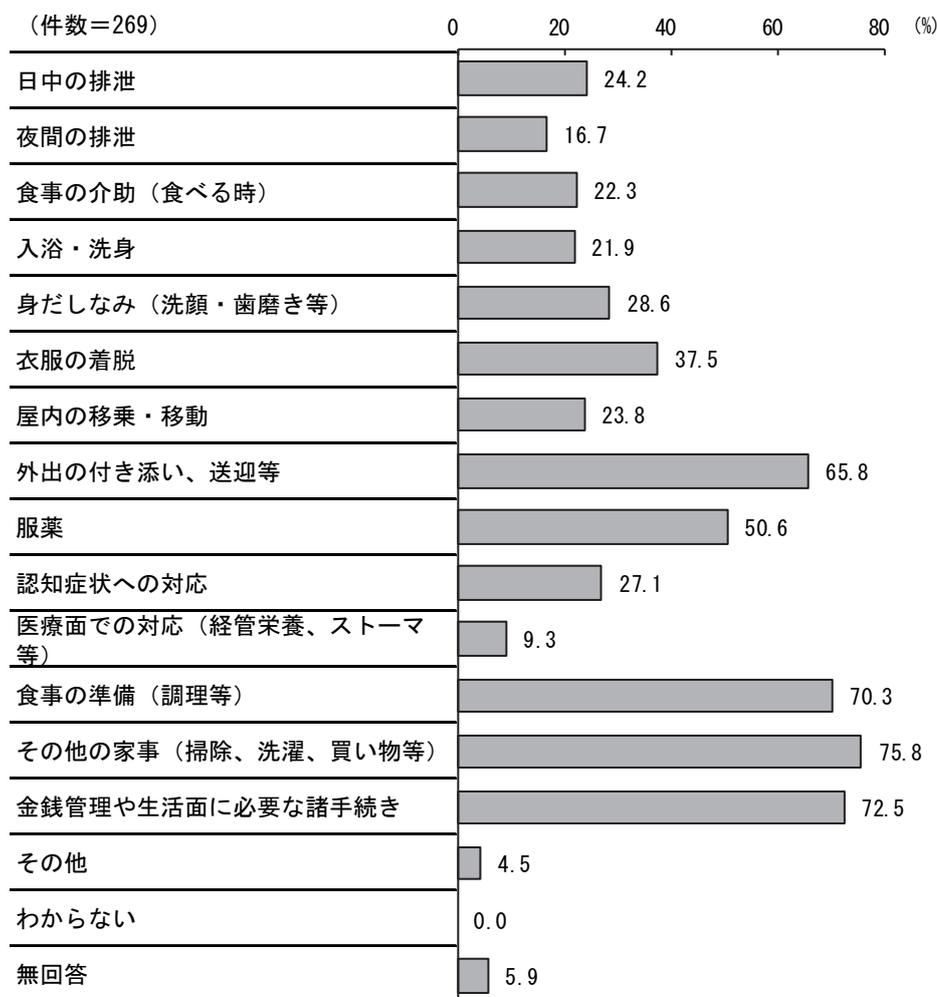
◆現在利用している介護サービスと満足度

	件数	現在利用している・以前利用していた	利用していない	無回答	満足	やや満足	ふつう	やや不満	不満	無回答
上段：実数										
下段：%										
①訪問介護（ホームヘルプサービス）	386	58	84	244	36	11	7	-	-	4
	100.0	15.0	21.8	63.2	62.1	19	12.1	-	-	6.9
②訪問入浴介護	386	18	99	269	11	1	3	1	-	2
	100.0	4.7	25.6	69.7	61.1	5.6	16.7	5.6	-	11.1
③訪問リハビリテーション	386	28	97	261	16	4	6	-	-	2
	100.0	7.3	25.1	67.6	57.1	14.3	21.4	-	-	7.1
④訪問看護	386	29	94	263	21	2	6	-	-	-
	100.0	7.5	24.4	68.1	72.4	6.9	20.7	-	-	-
⑤居宅療養管理指導	386	9	105	272	6	-	2	-	1	-
	100.0	2.3	27.2	70.5	66.7	-	22.2	-	11.1	-
⑥通所介護（デイサービス）	386	195	37	154	92	50	37	5	1	10
	100.0	50.5	9.6	39.9	47.2	25.6	19	2.6	0.5	5.1
⑦通所リハビリテーション（デイケア）	386	47	86	253	21	12	10	1	1	2
	100.0	12.2	22.3	65.5	44.7	25.5	21.3	2.1	2.1	4.3
⑧短期入所生活介護（ショートステイ）	386	54	86	246	24	12	10	5	2	1
	100.0	14.0	22.3	63.7	44.4	22.2	18.5	9.3	3.7	1.9
⑨短期入所療養介護（ショートステイ）	386	9	103	274	5	2	1	-	-	1
	100.0	2.3	26.7	71.0	55.6	22.2	11.1	-	-	11.1
⑩福祉用具貸与	386	152	45	189	90	31	22	-	2	7
	100.0	39.4	11.7	49.0	59.2	20.4	14.5	-	1.3	4.6
⑪特定福祉用具販売（福祉用具購入費の支給）	386	34	85	267	20	2	5	1	2	4
	100.0	8.8	22.0	69.2	58.8	5.9	14.7	2.9	5.9	11.8
⑫住宅改修（住宅改修費の支給）	386	49	77	260	23	7	12	2	1	4
	100.0	12.7	19.9	67.4	46.9	14.3	24.5	4.1	2	8.2
⑬小規模多機能型居宅介護	386	8	108	270	3	1	2	1	-	1
	100.0	2.1	28.0	69.9	37.5	12.5	25	12.5	-	12.5
⑭看護小規模多機能型居宅介護	386	2	112	272	-	1	1	-	-	-
	100.0	0.5	29.0	70.5	-	50	50	-	-	-
⑮地域密着型通所介護（定員18人以下のデイサービス）	386	32	91	263	16	6	3	1	1	5
	100.0	8.3	23.6	68.1	50	18.8	9.4	3.1	3.1	15.6
⑯認知症対応型通所介護（認知症高齢者に対するデイサービス）	386	9	106	271	4	2	-	1	1	1
	100.0	2.3	27.5	70.2	44.4	22.2	-	11.1	11.1	11.1
⑰認知症グループホーム	386	1	111	274	1	-	-	-	-	-
	100.0	0.3	28.8	71.0	100	-	-	-	-	-

(2) 主な介護者の状況

主な介護者が行っている介護の内容については、「その他の家事(掃除、洗濯、買い物等)」が75.8%で最も高く、次いで「金銭管理や生活面に必要な諸手続き」が72.5%、「食事の準備(調理等)」が70.3%などとなっています。

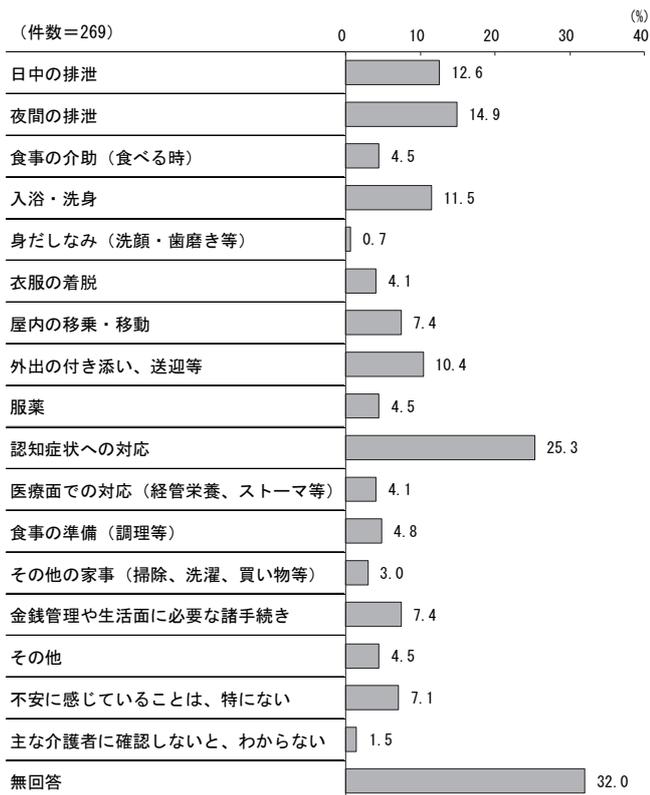
◆主な介護者が行っている介護



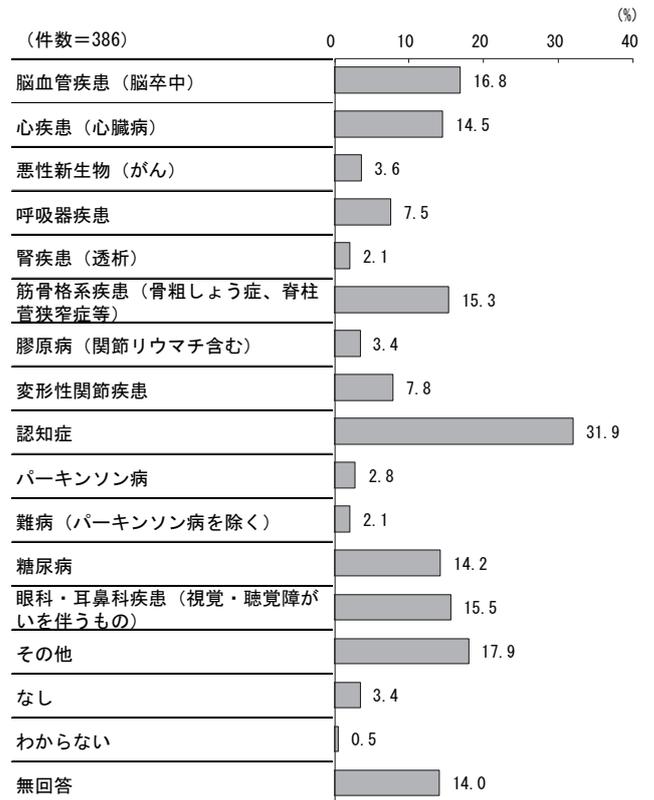
一方、在宅生活の継続にあたり介護者が不安に感じている介護として「認知症状への対応」が最も多くあげられています。要介護者が現在抱えている傷病としても認知症は31.9%と最も高くなっています。

認知症状について知識習得のニーズも高まっていると考えられます。認知症状についての詳しい情報の提供や相談窓口の周知がさらなる介護者支援につながると考えられます。

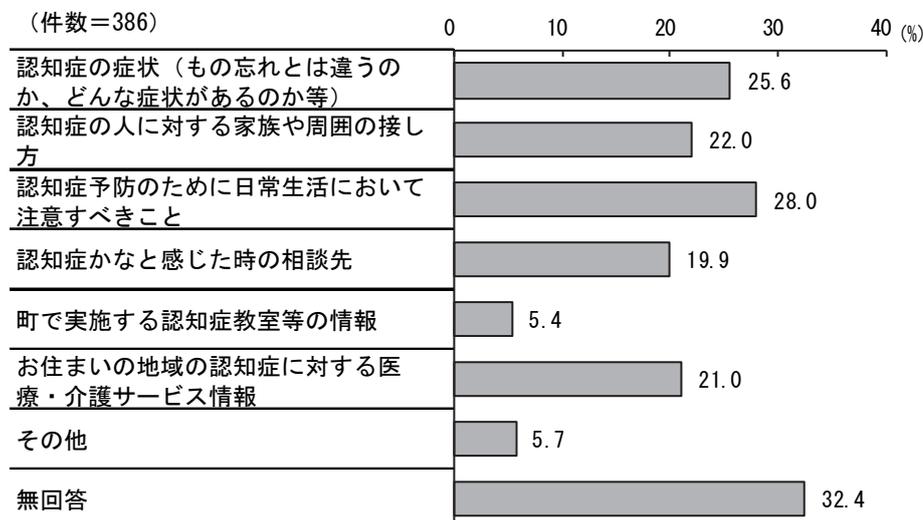
◆主な介護者が不安に感じる介護



◆現在抱えている傷病



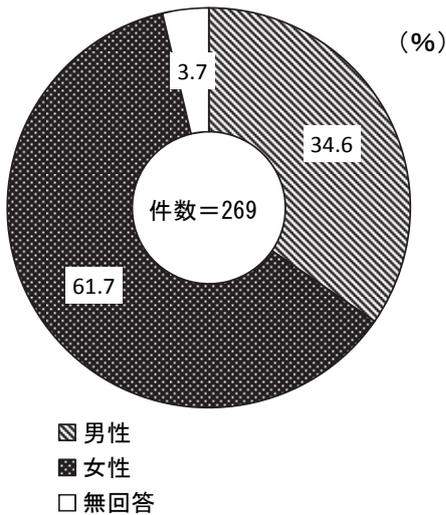
◆認知症について知りたいこと



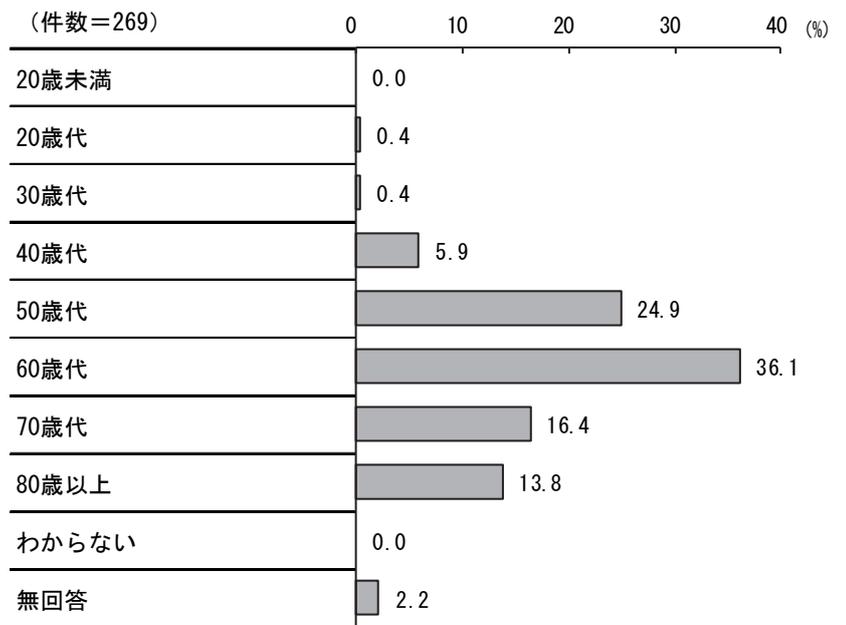
(3) 家族等介護者の就労継続の状況

在宅生活を送る認定者の主な介護者は、女性が約6割、60歳代が3割半となっています。主な介護者の4割以上の方が働いていますが、そのうち介護を理由とする離職者は1割未満となっています。

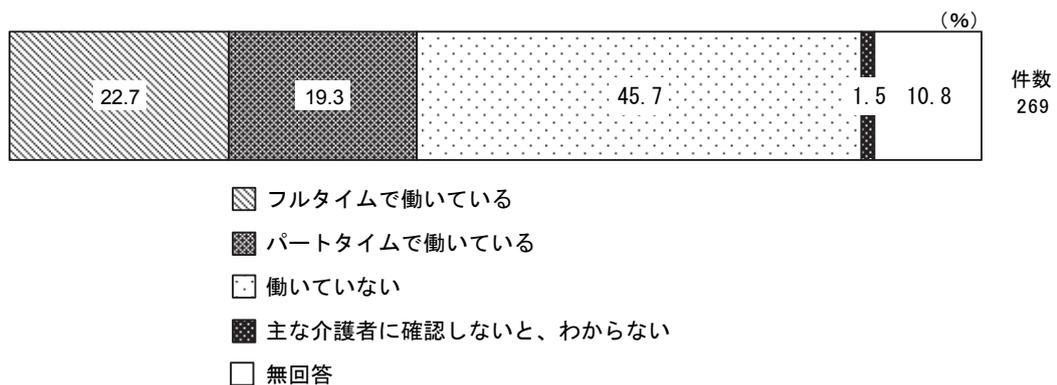
◆主な介護者の性別



◆主な介護者の年齢

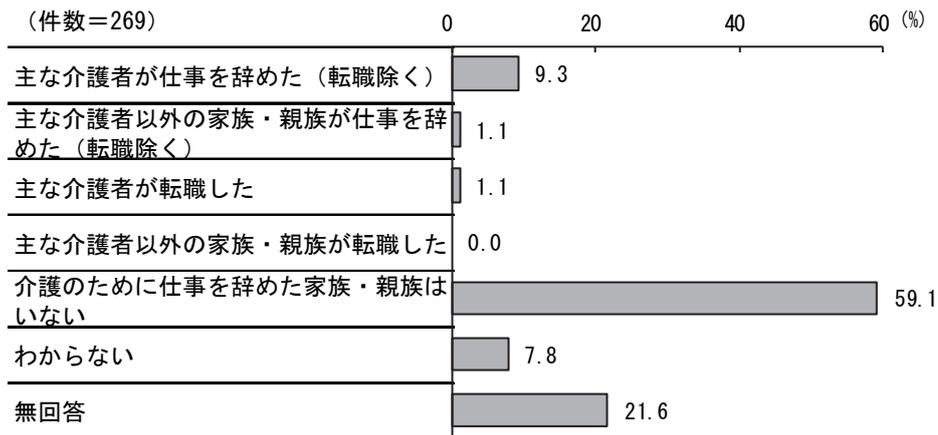


◆主な介護者の勤務形態



また、介護者が仕事と介護を両立に必要な勤め先からの支援としては、「介護休業・介護休暇等の制度の充実」「制度を利用しやすい職場づくり」「労働時間の柔軟な選択（フレックスタイム制など）」が多くあげられており、企業側の理解と支援を求めていく必要があると考えられます。

◆介護を理由とした家族等の離職の有無（過去1年間）



◆仕事と介護の両立に必要な勤め先からの支援

